



## 2022年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年8月6日

上場会社名 株式会社 F U J I 上場取引所 東 名  
 コード番号 6134 URL <https://www.fuji.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 曾我 信之  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経営管理部部長 (氏名) 加納 淳一 TEL 0566-81-2111  
 兼経理部部長  
 四半期報告書提出予定日 2021年8月6日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨)

### 1. 2022年3月期第1四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	38,761	2.5	8,845	37.5	9,232	32.1	6,467	30.7
2021年3月期第1四半期	37,800	23.0	6,434	32.9	6,991	42.8	4,948	22.1

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 6,257百万円 (△7.6%) 2021年3月期第1四半期 6,770百万円 (229.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	67.07	—
2021年3月期第1四半期	54.17	51.30

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第1四半期	229,526	197,921	86.1
2021年3月期	224,671	194,556	86.5

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 197,611百万円 2021年3月期 194,256百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	20.00	—	30.00	50.00
2022年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期（予想）	—	30.00	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有  
 配当予想の修正につきましては、本日公表の「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

### 3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	73,000	3.3	14,000	22.7	14,000	15.5	9,700	11.7	100.59
通期	151,000	10.9	29,000	32.4	29,000	24.9	20,000	16.5	207.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有  
 連結業績予想の修正につきましては、本日公表の「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料の8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期1Q	97,823,748株	2021年3月期	97,823,748株
② 期末自己株式数	2022年3月期1Q	1,390,700株	2021年3月期	1,390,652株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期1Q	96,433,084株	2021年3月期1Q	91,344,640株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、本日公表の「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料につきましては、2021年8月6日に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローに関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9
3. その他	11
(1) 受注及び販売の状況	11
(2) 顧客との契約から生じる収益を分解した情報	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により下押しされてきた景気が、輸出の増加を背景として回復傾向に転じました。また、製造業では企業業績の改善に伴い設備投資再開の動きが見られました。世界経済においても、新型コロナウイルス感染拡大による活動制限が緩和されたことにより景気の回復が持続し、製造業の設備投資は堅調に推移しました。

このような環境のなかで、当グループは、『お客様に感動を!』のコーポレートスローガンのもと、ロボット技術を軸に時代を捉え未来を切り拓いていくことを成長戦略の基本とし、変革にチャレンジしてまいりました。来たるべき未来を見据えた魅力ある製品の開発に取り組み、主力の電子部品実装ロボットの分野ではハイエンドモデル「NXTR」、工作機械の分野ではロボット付き複合加工機「GYROFLEX T4000（呼称 ジャイロフレックス）」の市場投入を推し進めてまいりました。また、ものづくりの効率化や原価改善に努めるとともに、ニューノーマル時代を踏まえたDXを積極的に取り入れることでペーパーレス化やWEB会議、テレワークの推進をはじめとする業務改革により固定費の一層の削減などに取り組み、収益性の向上を目指してまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は38,761百万円となり、前第1四半期連結累計期間と比べて961百万円(2.5%)増加しました。営業利益は8,845百万円と、前第1四半期連結累計期間に比べて2,410百万円(37.5%)増加し、経常利益は9,232百万円と、前第1四半期連結累計期間に比べて2,241百万円(32.1%)増加しました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は前第1四半期連結累計期間と比べて1,519百万円(30.7%)増加し、6,467百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ロボットソリューション

当社の主力市場であるスマートフォンをはじめとする通信機器関連において継続的な設備投資がみられたことに加え、テレワークの普及によるパソコン・タブレットPC、車載関連、さらにはこれら電子機器製造に欠かせない電子部品生産用の設備需要の増加を背景に、堅調に推移しました。この結果、売上高は36,885百万円となり、前第1四半期連結累計期間と比べて1,511百万円(4.3%)増加しました。また、営業利益は9,654百万円となり、前第1四半期連結累計期間と比べて2,134百万円(28.4%)増加しました。

#### マシンツール

海外市場においては設備投資に回復の兆しが見え始めたものの、国内市場においては新型コロナウイルス感染拡大により、企業の設備投資にはまだまだ慎重な姿勢が続きました。この結果、売上高は1,595百万円となり、前第1四半期連結累計期間と比べて199百万円(11.1%)減少しましたが、営業利益は0百万円(前年同四半期：営業損失337百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は148,781百万円となり、前連結会計年度末から4,921百万円増加しました。これは主に、棚卸資産が5,431百万円、受取手形及び売掛金が3,036百万円増加した一方、未収消費税等（流動資産のその他に含みます）が4,228百万円減少したことによるものであります。固定資産は80,745百万円となり、前連結会計年度末と比べ66百万円減少しました。

この結果、資産合計は、229,526百万円となり、前連結会計年度末から4,855百万円増加しました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は29,403百万円となり、前連結会計年度末から2,123百万円増加しました。これは主に前受金（流動負債のその他に含みます）が1,899百万円増加したことによるものであります。固定負債は2,201百万円となり、前連結会計年度末と比べ633百万円減少しました。これは主に繰延税金負債（固定負債のその他に含みます）が639百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、31,605百万円となり、前連結会計年度末から1,490百万円増加しました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は197,921百万円となり、前連結会計年度末から3,364百万円増加しました。これは主に配当金の支払により利益剰余金が2,892百万円減少した一方、親会社株主に帰属する四半期純利益により利益剰余金が6,467百万円増加したことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末から591百万円増加し60,980百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは5,501百万円の収入（前年同四半期：12,032百万円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益や未収消費税等の減少などのプラス要因が棚卸資産の増加などのマイナス要因を上回ったことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは2,159百万円の支出（前年同四半期：3,717百万円の支出）となりました。これは主に有形及び無形固定資産の取得による支出などによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは2,849百万円の支出（前年同四半期：2,070百万円の支出）となりました。これは主に配当金の支払額によるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の連結業績予想につきましては、2021年5月11日に公表いたしました連結業績予想から変更しております。

詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	60,278	60,904
受取手形及び売掛金	36,374	39,411
有価証券	1,757	1,840
商品及び製品	9,996	9,613
仕掛品	20,804	24,156
原材料及び貯蔵品	7,364	9,827
その他	7,369	3,108
貸倒引当金	△86	△81
流動資産合計	143,859	148,781
固定資産		
有形固定資産	24,342	24,465
無形固定資産		
のれん	11,893	11,655
その他	12,958	12,970
無形固定資産合計	24,851	24,625
投資その他の資産		
投資有価証券	28,509	28,461
退職給付に係る資産	1,890	1,988
その他	1,217	1,203
投資その他の資産合計	31,618	31,654
固定資産合計	80,811	80,745
資産合計	224,671	229,526
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,025	11,503
未払法人税等	4,861	2,946
製品保証引当金	955	925
その他	10,438	14,028
流動負債合計	27,279	29,403
固定負債		
退職給付に係る負債	254	263
その他	2,580	1,937
固定負債合計	2,834	2,201
負債合計	30,114	31,605
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,878	5,878
資本剰余金	7,034	7,034
利益剰余金	170,381	173,956
自己株式	△1,670	△1,671
株主資本合計	181,624	185,199
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,779	9,697
繰延ヘッジ損益	42	39
為替換算調整勘定	2,066	2,119
退職給付に係る調整累計額	742	556
その他の包括利益累計額合計	12,631	12,412
非支配株主持分	300	310
純資産合計	194,556	197,921
負債純資産合計	224,671	229,526

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
売上高	37,800	38,761
売上原価	24,262	22,939
売上総利益	13,538	15,821
販売費及び一般管理費	7,103	6,976
営業利益	6,434	8,845
営業外収益		
受取利息	31	18
受取配当金	549	329
為替差益	—	26
雑収入	22	17
営業外収益合計	602	391
営業外費用		
支払利息	△1	0
支払手数料	1	1
為替差損	44	—
雑支出	0	2
営業外費用合計	45	4
経常利益	6,991	9,232
特別利益		
固定資産処分益	12	0
投資有価証券売却益	63	—
特別利益合計	75	0
特別損失		
固定資産処分損	15	18
投資有価証券評価損	43	—
特別損失合計	59	18
税金等調整前四半期純利益	7,008	9,215
法人税、住民税及び事業税	2,241	3,235
法人税等調整額	△192	△499
法人税等合計	2,049	2,735
四半期純利益	4,959	6,479
非支配株主に帰属する四半期純利益	11	11
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,948	6,467

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	4,959	6,479
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,988	△82
繰延ヘッジ損益	△14	△3
為替換算調整勘定	△255	50
退職給付に係る調整額	92	△185
その他の包括利益合計	1,811	△221
四半期包括利益	6,770	6,257
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,812	6,248
非支配株主に係る四半期包括利益	△41	9

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	7,008	9,215
減価償却費	1,689	1,752
のれん償却額	237	237
退職給付に係る資産負債の増減額	△69	△356
受取利息及び受取配当金	△580	△347
支払利息	△1	0
固定資産処分損益 (△は益)	2	17
投資有価証券売却損益 (△は益)	△63	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	43	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,317	△3,027
棚卸資産の増減額 (△は増加)	2,044	△5,369
仕入債務の増減額 (△は減少)	△454	399
未収消費税等の増減額 (△は増加)	4,035	4,116
その他	744	3,474
小計	13,320	10,112
利息及び配当金の受取額	580	348
利息の支払額	△0	△0
保険金の受取額	18	—
法人税等の支払額	△1,887	△4,959
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,032	5,501
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	△2,299	—
有価証券の償還による収入	999	—
有形及び無形固定資産の取得による支出	△2,581	△1,972
有形及び無形固定資産の売却による収入	15	14
投資有価証券の取得による支出	—	△175
投資有価証券の売却による収入	170	—
定期預金の預入による支出	△18	△17
その他	△4	△10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,717	△2,159
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	600	—
配当金の支払額	△2,666	△2,844
その他	△3	△5
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,070	△2,849
現金及び現金同等物に係る換算差額	△143	100
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	6,100	591
現金及び現金同等物の期首残高	43,907	60,388
現金及び現金同等物の四半期末残高	50,007	60,980

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、当第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。

当該会計方針の変更による影響は軽微です。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。

当該会計方針の変更による影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルスの感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、当グループの各拠点においては感染拡大リスク低減のための対応を実施した上で事業活動を継続しております。新型コロナウイルス感染拡大を契機とするテレワークの普及などを受け、サーバー・ネットワーク等のインフラ、パソコン、スマートフォン、さらにはこれらを支える半導体関連分野における設備投資が見込まれます。一方で、新型コロナウイルス感染症は世界的な広がりを見せ、経済への影響が顕在化しております。現時点では世界経済への影響がしばらく続くことを想定して、業績予想及び会計上の見積りを行っておりますが、不確実性がさらに高まった場合には、将来における実績値に基づく結果がこれらの見積り及び仮定とは異なる可能性があります。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ロボット ソリューション	マシンツール	計		
売上高					
外部顧客への売上高	35,374	1,794	37,168	631	37,800
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	—	0	51	52
計	35,374	1,794	37,169	683	37,852
セグメント利益又は損失(△)	7,519	△337	7,182	△32	7,150

(注) その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、制御機器製造、電子機器製造及び画像処理開発等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	7,182
その他の区分の利益又は損失(△)	△32
セグメント間取引消去	2
全社費用(注)	△717
四半期連結損益計算書の営業利益	6,434

(注) 全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年6月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ロボット ソリューション	マシンツール	計		
売上高					
外部顧客への売上高	36,885	1,595	38,480	281	38,761
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	—	1	58	60
計	36,886	1,595	38,481	340	38,822
セグメント利益又は損失(△)	9,654	0	9,655	△65	9,590

(注) その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、制御機器製造、電子機器製造及び画像処理開発等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	9,655
その他の区分の利益又は損失(△)	△65
セグメント間取引消去	2
全社費用(注)	△747
四半期連結損益計算書の営業利益	8,845

(注) 全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. その他

(1) 受注及び販売の状況

前第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

セグメントの名称	受注高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)	受注残高 (百万円)	構成比 (%)
ロボットソリューション	31,155	94.8	35,374	93.6	22,286	81.9
マシンツール	979	3.0	1,794	4.7	4,517	16.6
報告セグメント計	32,135	97.8	37,168	98.3	26,803	98.5
その他	734	2.2	631	1.7	415	1.5
合計	32,869	100.0	37,800	100.0	27,219	100.0

当第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

セグメントの名称	受注高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)	受注残高 (百万円)	構成比 (%)
ロボットソリューション	43,048	94.0	36,885	95.2	48,227	90.9
マシンツール	2,443	5.3	1,595	4.1	4,534	8.5
報告セグメント計	45,491	99.3	38,480	99.3	52,761	99.4
その他	328	0.7	281	0.7	307	0.6
合計	45,819	100.0	38,761	100.0	53,069	100.0

前連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

セグメントの名称	受注高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)	受注残高 (百万円)	構成比 (%)
ロボットソリューション	141,129	94.1	125,569	92.2	42,064	91.4
マシンツール	6,219	4.1	7,866	5.8	3,686	8.0
報告セグメント計	147,349	98.2	133,436	98.0	45,750	99.4
その他	2,672	1.8	2,725	2.0	260	0.6
合計	150,021	100.0	136,161	100.0	46,010	100.0

(2) 顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

(単位:百万円)

セグメントの名称	日本	中国	他アジア	米国	他北米	ヨーロッパ	その他	合計
ロボットソリューション	1,208	21,923	8,229	1,867	256	1,711	177	35,374
マシンツール	1,051	63	69	197	141	270	0	1,794
報告セグメント計	2,260	21,987	8,298	2,065	398	1,981	177	37,168
その他	630	—	1	—	—	—	—	631
合計	2,890	21,987	8,299	2,065	398	1,981	177	37,800
構成比(%)	7.6	58.2	22.0	5.5	1.0	5.2	0.5	100.0

当第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

(単位:百万円)

セグメントの名称	日本	中国	他アジア	米国	他北米	ヨーロッパ	その他	合計
ロボットソリューション	2,071	20,086	7,125	3,167	602	3,482	349	36,885
マシンツール	549	349	167	199	297	27	3	1,595
報告セグメント計	2,621	20,436	7,293	3,367	899	3,509	352	38,480
その他	277	—	3	—	—	—	—	281
合計	2,898	20,436	7,297	3,367	899	3,509	352	38,761
構成比(%)	7.5	52.7	18.8	8.7	2.3	9.1	0.9	100.0

前連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

セグメントの名称	日本	中国	他アジア	米国	他北米	ヨーロッパ	その他	合計
ロボットソリューション	7,366	70,519	29,894	5,674	1,117	9,415	1,582	125,569
マシンツール	3,566	1,234	378	1,716	536	424	8	7,866
報告セグメント計	10,932	71,754	30,272	7,390	1,653	9,840	1,591	133,436
その他	2,722	—	3	—	—	—	—	2,725
合計	13,654	71,754	30,276	7,390	1,653	9,840	1,591	136,161
構成比(%)	10.0	52.7	22.3	5.4	1.2	7.2	1.2	100.0

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

参考資料

2022年3月期 第1四半期決算発表

2021年8月6日

株式会社 F U J I

(コード番号 6134 東証・名証第一部)

1. 当期の連結業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
第2四半期連結累計期間	73,000	3.3	14,000	22.7	14,000	15.5	9,700	11.7
通期	151,000	10.9	29,000	32.4	29,000	24.9	20,000	16.5

2. 当期の連結受注高・売上高の予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(百万円未満切捨)

セグメントの名称	受注高		売上高	
	第2四半期連結累計期間	通期	第2四半期連結累計期間	通期
ロボットソリューション	70,800	137,000	67,000	136,000
マシンツール	5,500	13,000	4,500	12,000
その他	1,500	3,000	1,500	3,000
合計	77,800	153,000	73,000	151,000

3. 当期の主な科目の第1四半期連結累計期間実績と第2四半期連結累計期間及び通期予想

(2021年4月1日～2022年3月31日)

(百万円未満切捨)

科目	第1四半期連結累計期間実績	第2四半期連結累計期間予想	通期予想
設備投資額	1,900	5,600	10,600
減価償却実施額	1,752	3,500	7,800
研究開発費	1,920	4,200	8,400